

給食 おつきみ献立(2022 9 9)

9月9日の給食はおつきみ献立でした。



給食の時間には、放送委員による給食メニューにちなんだ放送が毎日あります。

今日は「おつきみ献立」にちなんだ放送でした。その放送原稿を紹介します。

「おつきみ」について

十五夜とは昔の暦で8月15日の夜の事です(今の9月頃)。「中秋の名月」ともいい、1年でもっとも月がきれいに見えることから、月を眺めるお月見の習慣があります。

ちょうど、農作物の収穫時期に当たるため、季節の野菜や果物などをお供えし、収穫に感謝する意味もあります。

今年の十五夜は明日になります。今日の給食は、一日早い“十五夜のお月見の行事食”です。おつきみ汁には、うずらの卵と丸い白玉だんごが入っていて、満月に見立てています。

明日、暗くなったらまんまるお月様をながめてみましょう。よく見えるといいですね。

給食後、放送委員に今日の献立でおいしかったものを聞いたところ、「ウサギの形のハンバーグがおいしかったです」との感想でした。

13日は愛媛県から届く「まだい」を使った献立、29日は「群馬のきのこ」を使った献立がでます。